

令和4年度

62期生

2年次シラバス

62期生      クラス      学籍番号      氏名

長野県農業協同組合連合会  
佐久総合病院看護専門学校

## シラバスについて

1. 本校で履修する分野は、基礎分野・専門基礎分野・専門分野 I II・統合分野に大別される。

これらの分野に、それぞれ規定の科目・単位・時間数が表記されている。

2. 1年次は主に基礎分野・専門基礎分野・専門分野 I の履修、2年次は主に専門基礎分野・専門分野

II の履修、3年次は主に専門分野 II の臨地実習・統合分野を履修する。

3. 各科目は全て必修科目である。卒業までに 3015 時間・99 単位全てを取得しなければならない。

4. 講義は、時間割とシラバスを確認し臨む。

5. 記載内容は、科目名・講義開始時期・単位数・時間数・担当講師・科目目標・講義回数・主要内容・

評価方法・使用テキスト・受講時の注意事項である。

6. 科目の評価は、講義終了後に実施となる。

7. このシラバスは、毎年該当学年のものが配布される。また、卒業後も大切に保管する。

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
薬理学2	2年次 前期	1単位／30時間	栗林正彦
【科目目標】			
臨床で主に用いられる薬剤が、人体に及ぼす影響と生体の反応について学ぶ。			
回数	主要内容	備考	
1	1. 対症療法薬の臨床薬理学 1) 解熱鎮痛薬 ①種類 ②薬物療法の基本 2) 制吐薬 ①悪心・嘔吐の病態と分類 ②薬物療法の基本 3) 便秘治療薬 ①病態と分類 ②薬物療法の基本		
2	4) 下痢治療薬 ①病態と分類 ②薬物療法の基本 5) 鎮咳・去痰薬 ①病態と種類 ②薬物療法の基本 6) 鎮静薬 ①鎮静薬を必要とする病態 ②薬物療法の基本		
3	7) 睡眠薬 ①睡眠障害の病態と症状 ②薬物療法の基本 2. 主要疾患の臨床薬理学 1) 高血圧症 ①種類 ②作用機序 ③副作用 2) 急性冠症候群 ①種類 ②作用機序 ③副作用		
4	3) 心不全 ①種類 ②作用機序 ③副作用 4) 不整脈 ①種類 ②作用機序 ③副作用 5) 抗血小板・抗凝固療法 ①種類(抗血栓療法・抗血栓薬) ②作用機序 ③副作用		
5	6) 気管支喘息 ①種類 ②作用機序 ③副作用 7) 慢性閉塞性肺疾患 ①種類 ②作用機序 ③副作用 8) 胃・十二指腸潰瘍 ①種類 ②作用機序 ③副作用		
6	9) 胃食道逆流症 ①種類 ②作用機序・原因 ③副作用 10) 慢性肝炎 ①種類(B型慢性肝炎・C型慢性肝炎・自己免疫性肝炎) ②作用機序・原因 ③副作用 11) 慢性腎臓病(CKD) ①種類 ②作用機序 ③副作用		
7	12) 透析患者における薬剤管理 ①腎機能と薬物の代謝・排泄 ②人工透析 ③副作用 13) 糖尿病 ①種類(経口血糖下降薬・注射薬) ②作用機序 ③副作用 14) 脂質異常症 ①種類(高コレステロール血症・高トリグリセリド血症) ②作用機序 ③副作用		
8	15) 骨粗鬆症 ①種類 ②作用機序 ③副作用 16) 関節リウマチ ①種類 ②作用機序 ③副作用 17) パーキンソン病 ①種類 ②作用機序 ③副作用 18) 認知症(アルツハイマー病) ①種類 ②作用機序 ③副作用		
9	19) うつ病・うつ状態 ①種類 ②作用機序 ③副作用 20) てんかん ①種類 ②作用機序 ③副作用 3. 特定の行為に関する臨床薬理学 1) 循環動態にかかわる持続点滴中の薬剤投与と調整 ①カテコールアミン		
10	2) 持続点滴中の降圧薬の投与量の調整 ①種類 ②作用機序 ③副作用 3) 持続点滴中の利尿薬の投与量の調整 ①種類 ②作用機序 ③副作用 4) 持続点滴中の糖質・電解質輸液の投与量の調整 ①種類 ②作用機序 ③副作用 5) 栄養及び水分管理にかかわる薬剤投与と調整 ①脱水症状 ②高カロリー輸液		
11	6) インスリンの投与量の調整 ①種類 ②作用機序 ③副作用 7) 精神および神経症状にかかわる薬剤投与と調整 ①種類(向精神薬・抗精神薬・抗不安薬・抗けいれん薬) ②作用機序 ③副作用 8) 感染兆候がある者に対する薬物の臨時投与①種類(細菌感染・抗菌薬)②作用機序③副作用		
12	9) 副腎皮質ステロイド薬による治療 ①種類(炎症・抗ガン薬の血管外漏出) ②作用機序 ③副作用 10) 術後・呼吸管理にかかわる薬剤投与と調整 ①種類(硬膜外カテーテルによる鎮痛薬・硬膜外麻酔・人工呼吸器による鎮痛薬) ②作用機序 ③副作用		
13	4. 末梢神経系作用薬 1) 交感神経作用薬 2) 副交感神経作用薬 3) 筋弛緩・局所麻酔薬 5. 中枢神経系作用薬 1) 麻薬 6. 抗炎症系 1) 抗ヒスタミン薬 2) 抗炎症薬 3) リウマチ薬 4) 高尿酸血症		
14	7. 抗悪性腫瘍薬 1) 抗癌薬 2) 免疫治療薬 3) ホルモンに関する薬物 8. その他 1) ビタミン 2) 皮膚科用薬 3) 眼科用薬 4) 漢方薬 5) 消毒薬の計算		
15	9. まとめ 試験		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	薬理学 (医学書院)		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
治療論	2年次 前期	1単位／15時間	西本寛
【科目目標】 疾病の回復を促進するための主な治療法の基礎を学ぶ。			
回数	主要内容		備考
1	運動療法 特殊栄養法		
2	リハビリテーション療法 チーム医療		
3	低侵襲治療法 ・内視鏡的治療 ・ラジオ波焼灼療法 ・カテーテル治療 放射線治療法		
4	手術療法		
5	麻酔について		
6	侵襲・炎症・外科的感染症		
7	腫瘍・臓器移植		
	試験		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	治療法概説 (メジカルフレンド社)		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
病理学 1	2年次 前期	1単位／30時間	医師・臨床検査技師
【科目目標】 系統別疾患・障害の原因や成り立ち・症状・治療・検査・回復過程を理解する。 1 微生物の特徴と人体に及ぼす影響 2 主な感染症			
回数	主要内容	備考	
1	1.微生物と微生物学 1)性質 2)微生物と人間 3)対象と目的 2.細菌の性質 1)形態と特徴 2)培養環境と栄養 3)遺伝 4)分類 5)常在細菌叢	臨床検査技師 高見澤将 高松勇貴	
2	3.真菌の性質 1)形態と特徴 2)真菌の増殖 3)分類と命名法 4)栄養と培養法 4.原虫の性質 1)特徴と基本構造 2)病原原虫の種類		
3	5.感染と感染症 1)微生物感染の機構 2)細菌感染の機構 3)真菌感染の機構 4)原虫感染の機構 5)ウイルス感染の機構		
4	6.感染源・感染経路からみた感染症 1)経口感染 2)経気道感染 3)接触感染 4)経皮感染 5)母児感染		
5	7.滅菌と消毒 1)バイオハザードとバイオセーフティ 2)滅菌・消毒の意義と定義 3)滅菌法		
6	8.病原細菌と細菌感染症 1)グラム陽性球菌他 2)グラム陰性球菌他 3)カンピロバクター属 4)スピロヘータ 5)マイコプラズマ 6)リケッチア 7)クラミジア科		
7	9.病原真菌と真菌感染症 1)深在性真菌症をおこす真菌 2)深部皮膚真菌症をおこす真菌		
8	10.病原原虫と原虫感染症 1)根足虫類 2)鞭毛虫類 3)孢子虫類 4)絨毛虫類 11.主なウイルスとウイルス感染症 1)DNAウイルス 2)RNAウイルス 3)ウイルスの臨床的分類		
9	1.感染症とは 1)感染症の病態生理 2)症状 2.検査・診断 1)感染症診断の原則 2)検査の実際 3)検査・診断の流れ	医師 依田達也	
10	3.治療 1)感染症治療の原則 2)化学療法の基礎 3)各種の化学療法薬 ①抗菌薬 ②抗真菌薬 ③抗ウイルス薬 4)その他の治療法		
11	4.疾患の理解 1)発熱・不明熱 2)上気道感染症 3)下気道感染症 4)心血管系感染症 5)消化管感染症 6)肝胆道系感染症 7)尿路感染症		
12	8)性感染症 9)皮膚軟部組織感染症 10)眼の感染症 11)中枢神経感染症 12)悪性腫瘍・造血幹細胞移植・固形臓器移植に伴う感染症		
13	13)菌血症・敗血症 14)その他のウイルス性感染症 15)真菌感染症 16)寄生虫感染症 17)HIV感染症と日和見感染症 18)新興・再興感染症 19)多剤耐性菌感染症		
14	5.感染に対する生体防御機構 1)自然免疫のしくみ 2)獲得免疫のしくみ 3)粘膜免疫のしくみ 4)感染の徴候と症状		
15	試験		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	微生物学 (医学書院) アレルギー 膠原病 感染症 (医学書院)		
受講時の注意事項 1. 事前にテキストを読んで受講してください。 2. 専門分野毎の講義となるため、複数講師での試験となります。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
病理学2	2年次 前期	1単位／30時間	医師
<b>【科目目標】</b> 系統別疾患・障害の原因や成り立ち・症状・治療・検査・回復過程を理解する。 1 呼吸器 2 循環器 3 血液・造血器			
回数	主要内容	備考	
1	1. 呼吸器系病態・検査・治療	呼吸器内科医師	
2	1) 感染による気道・肺の炎症 (気管支炎・肺炎・間質性肺炎・インフルエンザ・結核・胸膜炎)	柳澤悟	
3	2) 気道疾患(気管支喘息・COPD)	和佐本論	
4	3) 肺腫瘍(肺癌・中皮腫)		
	4) 急性および慢性の呼吸不全の病態生理・検査・治療		
	5) 呼吸機能の障害による循環機能への影響 ・肺性心・肺高血圧・肺塞栓症		
	6) 肺癌の外科的治療(胸腔ドレーン管理含む)		
5	2. 循環器系病態・検査・治療	循環器系内科医師	
6	1) 後天的に心機能の障害を引き起こす疾患 (心不全・心肥大・心膜炎)	矢崎善一	
7	2) 心筋の酸素欠乏による心機能の障害 (虚血性心疾患・心筋梗塞・狭心症・心筋炎)	木村光	
8	3) 心臓のリズムの障害(不整脈)		
9	4) 血圧の異常(高血圧)		
10	5) 先天性心疾患による心機能の障害(心室中隔欠損症ファロー 四徴症・動脈管開存症)病態・検査・治療	循環器系外科医師	
11	・弁膜症 6) 血液の供給を障害する血管の疾患(動脈瘤・大動脈瘤・閉鎖性 動脈硬化症・控滅症候群・下肢静脈瘤・深部静脈血栓症) 病態・検査・治療	白鳥一明	
12	3. 血液・造血器系病態・検査・治療	血液内科医師	
13	1) 貧血(鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血)	三石俊美	
14	2) 出血傾向(TTP・ITP・DIC)		
15	3) 白血球減少症(病態・検査・治療)		
	4) 造血器の腫瘍(白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫)		
	5) 後天性免疫疾患(エイズ)		
	試験		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	呼吸器 (医学書院) 循環器 (医学書院) 血液 (医学書院)		
<b>受講時の注意事項</b> 1. 事前にテキストを読んで受講してください。 2. 専門分野毎の講義となるため、複数講師での試験となります。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
病理学3	2年次 前期	1単位／30時間	医師
【科目目標】			
系統別疾患・障害の原因や成り立ち・症状・治療・検査・回復過程を理解する。 1 泌尿器 2 消化器 3 腎・膠原・アレルギー			
回数	主要内容	備考	
1	1 消化器系	消化器系医師	
2	1) 上部消化管の病態・検査・治療 (逆流性食道炎・急性胃炎・ヘリコバクターピロリ感染症 胃,十二指腸潰瘍・食道癌・胃癌)	友利彰寿	
3	2) 下部消化管の病態・検査・治療 (潰瘍性大腸炎・クローン病・虫垂炎・痔瘻・大腸ポリープ 結腸癌・直腸癌)	大瀬良省三	
4	3) 排便障害の病態・検査・治療 (イレウス・便秘・下痢)		
5	4) 肝臓・胆嚢・膵臓の炎症性の病態・検査・治療 (肝炎・胆管炎・膵炎・劇症肝炎・肝硬変・肝不全)		
6	5) 肝臓・胆嚢・膵臓の腫瘍の病態・検査・治療 (肝臓癌・胆嚢癌・胆管癌・膵臓癌)	消化器系医師	
7	6) 胆汁代謝・排泄の障害 (胆石・胆嚢炎・黄疸)		
8	7) 腹壁・腹膜・横隔膜の疾患の病態・検査・治療 (鼠径ヘルニア・腹膜炎・横隔膜ヘルニア・吃逆)		
9	8) 外科的治療 (胃癌・大腸癌)		
10	2 免疫機能の障害	神経内科医師	
11	1) 自己免疫疾患(膠原病)の病態・検査・治療 (全身エリテマトーデス・シェーグレン症候群・関節リウマチ・ベーチェット 病)	牛山哲	
12	2) 免疫低下に関連する病態・検査・治療 (肺血症・HIV)		
13	3) ステロイド・パルス療法		
14	3 腎・泌尿機能疾患の病態・検査・治療	腎臓内科医師	
15	1) 腎機能障害(腎不全・腎炎・腎盂腎炎・急性糸球体腎炎 ネフローゼ症候群)	大沢紘介	
16	2) 腎臓の腫瘍		
17	3) 血液透析の適応と実際・腹膜透析の実際		
18	3) 泌尿器機能障害(膀胱炎・過活動膀胱・腹圧性尿失禁夜尿症)	泌尿器科医師	
19	4) 尿路の腫瘍 (尿管癌・膀胱癌・前立腺癌)	遠藤汀奈	
20	5) 腎・尿路の通過障害 (尿路結石・腎結石)		
21	6) 男性生殖器の疾患 (前立腺炎・前立腺肥大)		
22	7) 性交渉障害		
	試験		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	消化器 (医学書院) 腎・泌尿器 (医学書院) アレルギー膠原病感染症 (医学書院)		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。 2. 専門分野毎の講義となるため、複数講師での試験となります。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
病理学 4	2年次 後期	1単位／30時間	医師
<b>【科目目標】</b>			
系統別疾患・障害の原因や成り立ち・症状・治療・検査・回復過程を理解する。 1 脳神経 2 感覚器（皮膚科・眼科・形成外科・耳鼻科）			
回数	主要内容	備考	
1	1 中枢神経系の疾患の病態・検査・治療 1) 脳血管障害(くも膜下出血・脳内出血・頭蓋内圧亢進症・脳ヘルニア・脳浮腫 水頭症・脳腫瘍・転移性脳腫瘍・脳血管障害とは(CVG) 一過性脳虚血発作(TIA)	脳外科医師 吉田貴明	
2	2) 検査・治療 (脳波・腰椎穿刺・脊髄検査・コンピュータ断層撮影(CT)・ 磁気共鳴画像(MRI)・頸動脈撮影(CAG)・椎骨動脈撮影(VAG) デジタルサブトラクション血管造影(DSA) 脳血管内治療(頸動脈ステント留置術(CAS)		
3	3) 頭部の外傷 (頭皮外傷・頭蓋骨骨折・脳震盪・脳挫傷 外傷性頭蓋内出血)		
4	4) 二次的に意識障害・神経障害をおこす疾患 (一酸化炭素中毒・先天性水頭症・二分脊椎・狭頭症・くも膜嚢胞 正常圧水頭症・頭蓋内感染症(外傷性に限る))		
5			
6	5) 神経変性・脱髄性の疾患(多発性硬化症(MS)・パーキンソン病 筋萎縮性側索硬化症(ALS))	神経内科医師 松田正之	
7	6) 認知症 (アルツハイマー型認知症・脳血管性認知症・レビー小体型認知症) ・脊髄小脳変性症(SCD)		
8	7) 機能的疾患(てんかん) 8) 筋肉・神経筋接合部の疾患(重症筋無力症・筋ジストロフィー) 9) 微生物の中枢神経への感染 (髄膜炎(感染によるもの含)・頭蓋内膿瘍)		
9	10) もやもや病 2 末梢神経系の疾患の病態・検査・治療 (ギランバレー症候群・顔面神経 麻痺・圧迫性神経麻痺・ベル麻痺・自律神経失調症) 多発筋炎・皮膚筋炎・脳炎		
10	3 神経機能の主な症状 ・構音障害(仮性球麻痺など)・失語症・運動麻痺・頭痛 ・錐体路・錐体外路障害・けいれん・高次機能障害 4 遷延性意識障害と脳死		
11	3 感覚器系の病態・検査・治療 1) 皮膚障害 (帯状疱疹・湿疹・蜂窩織炎・アトピー性皮膚炎・疥癬・蕁麻疹・悪性黒色腫 皮膚真菌症(カンジダ・白癬)・ステイブンスージョンソン症候群)	皮膚科医師 吉田香奈子	
12・13	2) 熱傷・褥創 (演習含む)	形成外科医師 大谷津恭介	
14	3) 視覚障害・疾患の病態・検査・治療 (網膜剥離・白内障・緑内障・感染症・網膜炎) (1) 眼底検査 (2) 眼底光凝固療法 (3) 網膜剥離治療 (4) 眼内レンズ挿入術	眼科医師	
15	4) 聴覚・嗅覚・味覚障害及び耳鼻咽喉科疾患の病態・検査・治療 (1) 良性疾患 メニエール病・突発性難聴・副鼻腔炎・中耳炎 (2) 悪性疾患 喉頭癌・咽頭癌・舌癌 (3) その他 鼻出血	耳鼻科医師 清水雄太	
	試験		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	脳神経(医学書院) 皮膚科(医学書院) 眼科(医学書院) 耳鼻科(医学書院)		
<b>受講時の注意事項</b>			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。 2. 専門分野毎の講義となるため、複数講師での試験となります。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師	
病理学 5	2学年 後期	1単位／30時間	医師	
【科目目標】 系統別疾患・障害の原因や成り立ち・症状・治療・検査・回復過程を理解する。 1 運動器 2 内分泌 3 生殖器・乳腺				
回数	主要内容	備考		
1	1. 運動機能の障害・疾患・病態・検査・治療 1) 姿勢運動にかかわる骨・関節の疾患 ・骨折(大腿骨頸部骨折・骨盤骨折)・外傷・捻挫・打撲 ・代謝性疾患(骨粗鬆症・くる病・骨軟骨他)	整形外科医師 片桐健太		
2	・先天性股関節脱臼・慢性関節リウマチ(人工関節置換術) ・変形性関節症・骨髄炎・関節炎・骨腫瘍			
3	2) 運動機能障害による残存機能とリハビリテーション ・脊髄損傷・椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症			
4	3) 活動や行動が制限されることにより発生する疾患 ・関節拘縮			
5	4) 腫瘍 ・骨肉腫			
6	1 内分泌系の病態・検査・治療 1) 内分泌障害 (1) 下垂体疾患(下垂体腫瘍・間脳下垂体疾患)	内科医師 堀込充章 高見澤哲也 天満雄一		
7	(2) 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症(バセドウ病)・甲状腺機能低下症(クレチン症) 甲状腺炎・慢性甲状腺炎(橋本病)・甲状腺癌)			
8	(3) 副甲状腺疾患(副甲状腺機能低下症) (4) 副腎皮質、髄質疾患(副腎皮質機能亢進症(クッシング症候群) 原発性アルドステロン症)			
9	2 代謝異常の疾患、障害の病態・検査・治療 (1) 脂質代謝疾患(高脂血症・脂質異常症)			
10	(2) 尿酸代謝疾患(高尿酸血症・痛風) (3) 糖代謝疾患(糖尿病) (4) その他(メタボリック症候群・肥満症・ビタミン欠乏症)			
11	3 生殖器系・乳腺の疾患・病態・検査・治療 1) 女性生殖器系 (1) 月経随伴症状(月経異常・更年期障害)		産婦人科医師 小口治	
12	(2) 不正性器出血・気質的疾患(ポリープ、びらん、筋腫、癌など) 機能性子宮出血(内分泌機能の失調)			
13	(3) 膣の疾患 (帯下異常・外陰部搔痒感・性感染症・トリコモナス膣炎・カンジダ)			
14	(4) 子宮の疾患(子宮筋腫・子宮頸癌・子宮体癌・子宮内膜症)			
15	(5) 卵巣の疾患(卵管炎・卵巣腫瘍・卵巣癌)			
14	(6) 乳腺の疾患・病態・検査・治療 ・乳腺炎 ・乳腺症	外科医師 半田喜美也		
15	(7) 腫瘍 ・乳癌			
	試験			
評価方法	筆記試験 授業態度			
テキスト	運動器(医学書院) 内分泌・代謝(医学書院) 女性生殖器(医学書院)			
受講時の注意事項 1. 事前にテキストを読んで受講してください。 2. 専門分野毎の講義となるため、複数講師での試験となります。				

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
社会福祉	2年次 前期	1単位／30時間	佐々木俊介 木内健介 小林有菜
【科目目標】			
福祉の意味を学び、社会保障制度と社会福祉について学ぶ。			
回数	主要内容	備考	
1	1.社会保障制度と社会福祉 1)社会保障制度 2)社会福祉の法制度	木内健介	
2	2.現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 1)現代社会の変化 2)社会保障・社会福祉の動向	木内健介	
3	3.医療保障 1)医療保障制度の沿革      2)医療保障制度の構造と体系 3)健康保険と国民健康保険	小林有菜	
4	4)高齢者医療制度 5)保険診療の仕組み 6)公費負担医療      7)国民医療費	小林有菜	
5	4.介護保障    1)介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 2)介護保険制度の概要 3)介護保険制度の課題と展望	佐々木俊介	
6	5.所得保障 1)制度の仕組み    2)年金保険制度 3)社会手当      4)労働保険制度	佐々木俊介	
7	6.公的扶助 1)貧困・低所得問題と制度    2)生活保護制度の仕組み 3)低所得者対策      4)近年の動向	木内健介	
8	7.社会福祉の分野とサービス 1)高齢者福祉	佐々木俊介	
9	2)障害者福祉 3)児童家庭福祉	小林有菜	
10	8.社会福祉実践と医療・看護 1)社会福祉援助とは 2)個別援助技術	木内健介	
11	3)集団援助技術 4)間接援助技術と関連援助技術	木内健介	
12	5)社会福祉援助の課題 6)連携の重要性	佐々木俊介	
13	7)社会福祉実践と医療・看護との連携	佐々木俊介	
14	9.社会福祉の歴史 1)福祉史の枠組み    2)福祉史の3段階 3)前近代の諸相      4)近代の救済の諸相	小林有菜	
15	5)現代社会への構造変化と生活支援      6)戦後の社会福祉の再生	小林有菜	
試験			
評価方法	筆記試験      授業態度		
テキスト	健康支援と社会保障制度3（医学書院）		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
農村医学2	2年次 通年	1単位／15時間	院内講師・保健師
【科目目標】 地域で暮らす人々の生活と健康管理を知り、地域の人々の健康を支えるための看護を考える。			
	主要内容		備考
1	農業を営む人々の健康と予防について 「食と農」		院内講師
2	農業を営む人々の健康と予防について 「農作業安全と身体活動支援」		保健師
3	地域保健予防活動の実際について 1) 佐久病院の保健医療活動の歴史		保健師
4	2) 地域の方々への保健医療活動の現状と課題		保健師
5. 6	地域の暮らしを知る 「農場体験」①		院内講師
7. 8	地域の暮らしを知る 「農場体験」②		院内講師
評価方法	レポート提出 授業態度		
テキスト	なし		
受講時の注意事項 1. 地域で暮らす人々を知るために積極的に参加し、地域の人々への必要な看護を常に考えていきましょう。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
成人臨床看護 1	2年次 前期	1単位／30時間	認定看護師、病棟看護師 中山智恵美・渡辺和美
【科目目標】			
1 対象に応じた周手術期の看護、生命の危機的状況にある患者の看護を学ぶ			
2 その人らしく、人生を全うできるがん看護を学ぶ			
回数	主要内容	備考	
1	(手術期) 1. 周手術期とは 2. 手術前患者の看護 1) 手術前の具体的援助 ①心理面 (意思決定・家族支援など) ②全身状態 (既往を含めたリスクアセスメント) ③手術前の準備 (術前オリエンテーションなど) ④手術当日の準備	渡辺和美	
2	(手術後) 1・手術後患者の看護 1) 術後の生体反応 (ムーアの分類) 2) 手術後の回復を促進するための看護	<テキスト> 臨床外科総論 周手術期看護 4	
3	3) 創傷治癒の看護 ①手術創部の観察 ②ドレーン管理		
4	4) 術後合併症の発生機序 5) 術後合併症の予防と発生時の対応 (グループワーク)		
5	消化器疾患の手術を受ける患者の看護 1) 大腸の手術を受ける患者の看護 (腹腔鏡下・人工肛門増設)	消化器外科 病棟看護師 成人看護学 5	
6	2) 胃の手術を受ける患者の看護 (開腹・胃摘出術)		
7	(演習) 6) ドレーン留置中患者の初回歩行 (クラス別演習) ※事前に演習用動画を視聴してから臨みましょう!	渡辺和美	
8	(手術中患者の看護) 1) 手術室の環境管理 2) 手術中の看護の要点	手術看護 認定看護師 臨床外科総論 周手術期看護 4	
9	3) 手術室における看護の展開 ①麻酔導入時の看護 ②手術とその看護 ③体温管理 ④麻酔覚醒時の看護		
10	(生命の危機にある患者の看護) 1) 集中治療と看護 2) 人工呼吸器を装着する患者の看護	渡辺和美 成人看護学 2 (呼吸器)	
11	がん看護 1. がん看護とは	<テキスト> がん看護	
12	2. がん薬物療法と看護 1) 全身機能・骨髄抑制アセスメントと対処 2) 抗がん剤の与薬法・管理		
13	3. 放射線療法と看護 1) 照射法と被爆防御		
14	4. 造血幹細胞移植・免疫療法		
15	5. 終末期緩和ケア 1) 緩和ケアとは 2) 全人的苦痛 3) チーム医療 4) 家族看護		
	6) 悲嘆ケア 6) ACP 6. 演習 事例をもとに演習で学ぶ		
評価方法	筆記試験		
テキスト	臨床外科看護総論・成人看護学 2・5 (医学書院)、 周手術期 4 (メディカ出版) がん看護 (南江堂)		
受講時の注意事項			
1 周術期看護では事前にはテキストを読み演習前には指定の動画視聴して受講しましょう			
2. 既修の治療論、関連の病理学、薬理学、フィジカルアセスメントなどを復習しておいてください。			
3. がん看護では、心理学・カウンセリングも復習しておく。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師	
成人臨床看護2	2年次 前期	1単位／30時間	病棟看護師	
【科目目標】				
呼吸器系・循環器系の健康障害を有する対象に応じた看護を学ぶ				
回数	主要内容	備考		
1	<b>呼吸器系</b> 1 呼吸器障害の観察とアセスメント	看護師 内科系 8時間 外科系 4時間  テキスト 成人看護学 2 呼吸器		
2	1) 呼吸器のフィジカルアセスメント 2) 換気障害・ガス交換障害の程度と原因 3) 心身・日常生活への影響			
3	2 検査・治療・処置を受ける患者の看護 1) 気管支鏡検査・胸腔穿刺検査 2) 気管切開を受ける患者の看護			
4	3) 胸腔ドレナージの管理 4) 手術療法（開胸術・胸腔鏡下手術）*肺塞栓			
5	3) 吸入療法・服薬指導・酸素療法 3 呼吸器障害の症状を伴う患者の看護 1) 呼吸困難・喀痰困難時の患者の看護			
6	4 呼吸器疾患を持つ患者の看護 1) 気管支喘息患者の看護（喘息発作時の対応と予防指導） 2) 慢性呼吸不全の呼吸療法と生活指導			
7	<b>循環器系</b> 1 循環器障害の観察とアセスメント	テキスト 成人看護学3 循環器  病棟看護師		
8	1) 循環器のフィジカルアセスメント 2) 浮腫・うっ血・疼痛の観察法 3) 機能障害の程度と原因 4) 心身・日常生活への影響			
9	2 検査・治療・処置を受ける患者の看護 1) 心電図の所見 2) 心臓カテーテル検査・心臓血管造影検査時の援助 3) 経皮的冠動脈形成術の看護			
10	4) 薬物療法 ①降圧・利尿薬、抗不整脈・高狭心症薬の服薬指導			
11	5) <u>手術療法</u> ① 開心術を受ける患者の看護		外科系 (4時間)	
12	② 冠動脈バイパス術を受ける患者の看護 ③ 心タンポナーデ			
13	3 循環器疾患を持つ患者の看護 1) 慢性心不全疾患を持つ患者の看護	病棟看護師		
14	4 循環器疾患を持つ患者の看護 1) ペースメーカー装着時の生活指導・社会的支援について			
15	2) 高血圧コントロールの生活指導 3) 虚血性心疾患の生活指導			
	試験			
評価方法	筆記試験 授業態度			
テキスト	系統看護学講座 成人看護学2・3（医学書院）			
受講時の注意事項				
1. 事前にテキストを読んで受講してください 2. 関連する解剖生理、フィジカルアセスメント（共通基本技術4）、病態生理学、病態生理学2、 他を復習し受講をして下さい。				

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
成人臨床看護 3	2年次 前期	1単位／30時間	病棟看護師・金澤勇太
【科目目標】			
消化器系、アレルギー・膠原病、腎系、泌尿器系の健康障害を有する対象に応じた看護を学ぶ			
回数	主要内容	備考	
1	<消化器系> 1. 消化管障害の観察とアセスメントおよび症状を伴う患者の看護	内科系 ：看護師	
2	1) 腹部の観察法 2) 腹痛、嘔吐、吐血、下血、下痢、便秘の看護		
3	2. 消化腺障害の観察とアセスメントおよび症状を伴う患者の看護		
4	1) 食欲不振 2) 黄疸 3) 浮腫・腹水 4) 肝性脳症	<テキスト>	
5	3. 疾患を有する患者の病期や機能障害に応じた看護	成人看護学 5	
6	4. 検査、治療、処置を受ける患者の看護	(消化器)	
7	<膠原病> 膠原病をもつ患者の看護	看護師	
8		<テキスト> 成人看護学11	
9	<腎系> 1. 腎機能障害の観察とアセスメント及び症状を伴う患者の看護	看護師	
10	2. 検査、治療、処置を受ける患者の看護	成人看護学 8	
11	3. 慢性腎不全の病期に応じた生活指導 4. 腎臓の手術を受ける患者の看護	(腎・泌尿器)	
12	5. 透析治療を受ける患者の看護	透析室看護師	
13	<泌尿器> 1. 泌尿器障害の観察とアセスメント及び症状を伴う患者の看護	金澤勇太	
14	2. 検査、治療、処置を受ける患者の看護	6時間	
15	3. 手術を受ける患者の看護	<テキスト> 成人看護学 8	
	試験		
評価方法	筆記試験	授業態度	
テキスト	系統看護学講座 成人看護学 5・8・11 (医学書院)		
<b>受講時の注意事項</b> 1. 事前にテキストを読んで受講してください。 2. 関連の解剖生理学・病理学の復習をしておくこと。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
成人臨床看護4	2年次 後期	1単位／30時間	病棟看護師・清水真旗
【科目目標】			
脳神経系・感覚器系の健康障害を有する対象に応じた看護を学ぶ			
回数	主要内容	備考	
1	脳神経系<外科系> 1. 疾病の経過と看護	外科系病棟 看護師	
2	2. 脳神経系の観察とアセスメント及び症状を伴う患者の看護 中枢神経系のフィジカルアセスメント 意識障害のある患者の看護	<テキスト>	
3	視機能の障害のある患者の看護（瞳孔所見の見方を含む） 頭蓋内圧亢進のある患者の看護	成人看護学7	
4	3. 検査・治療を受ける患者の看護 脳血管撮影時の看護 開頭術を受ける患者の看護（脳室ドレナージ時の看護）		
5	4. 疾患を有する患者の健康段階に応じた看護 脳腫瘍患者の看護 脳動脈瘤破裂患者の看護 頭部外傷患者の看護		
6	<内科系>（数字は上の1～4と関連） 2. 脳神経系の観察とアセスメント及び症状を伴う患者の看護 高次機能障害のある患者の看護 言語障害	内科系病棟 看護師	
7	運動障害のある患者の看護（運動失調・運動麻痺） 知覚障害	<テキスト>	
8	4. 疾患を有する患者の健康段階に応じた看護 脳梗塞患者の看護（回復期看護過程を含む）	成人看護学7	
9	2. 脳神経系の観察とアセスメント及び症状を 痙攣発作		
9	3. 検査・治療を受ける患者の看護 腰椎穿刺時の看護		
9	4. 疾患を有する患者の健康段階に応じた看護 筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の看護		
10	4. 疾患を有する患者の健康段階に応じた看護 重症筋無力症患者の看護 筋ジストロフィー患者の看護 髄膜炎・脳炎患者の看護		
11	感覚器系 （耳鼻）1. 症状に対する看護（難聴・耳痛・耳漏・眩暈・嘔声・鼻閉・鼻出血 咽頭痛）	清水真旗	
12・13	2. 検査を受ける患者の看護（聴力・平衡機能検査・味覚・聴覚検査） 3. 治療を受ける患者の看護（後頭全摘術・副鼻腔手術・点鼻・点耳・聴覚検査） 4. 生活指導・回復期（発生の機能回復・退院について） 慢性期（日常生活行動・平衡感覚障害・味覚・聴覚障害）	<テキスト> 成人看護学 12. 13. 14	
14	（眼）症状に対する看護・検査・治療を受ける患者の看護 （皮膚）症状に対する看護・検査治療を受ける患者の看護		
15	事例をもとにグループワーク・発表		
	試験		
評価方法	筆記試験 脳神経系外科系（30点）脳神経内科系（30点）耳鼻（20点）眼（10点） 皮膚（10点）授業態度		
テキスト	系統看護学講座 成人看護学7・12・13・14 医学書院		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講して下さい。 2. 関連する、解剖生理、病態他について復習し受講する。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
成人臨床看護5	後期	1単位／30時間	病棟看護師・岩下真紀
【科目目標】 運動器系、内分泌系、女性生殖器系の健康障害を有する対象に応じた看護を学ぶ			
回数	主要内容	備考	
1	運動器 1 援助のための主な知識と技術 1) 日常生活動作 2) 良肢位と身体各部の相互作用位置関係と測定 3) 床上での離床訓練 4) 生活調整	外科系 看護師 10時間	
2	2 主要な症状と看護、検査 1) 神経麻痺 2) 循環障害と区画症候群（コンパートメント症候群） 3) 疼痛 4) 感染 5) 脊髄造影 6) 関連造影検査	テキスト 成人看護学10 （運動器）	
3	3 効果的な固定法・牽引法と生活援助及び合併症の予防 1) ギプス・シーネ固定 2) 松葉杖・杖の歩き方 3) 車いす 4) 牽引法 ①スピードトラック ②キルシュナー鋼線		
4	4 経過に応じた患者の看護 1) 急性期 大腿骨頸部骨折 人工股関節置換術（THA）を受ける患者の看護 2) 回復期 脊椎損傷患者の看護 3) 慢性期 関節リウマチ患者の看護		
5	5 退院調整と家族介護指導 頸髄不全麻痺患者の在宅における訪問看護		
6	内分泌系 1 内分泌機能の観察とアセスメント 1) 甲状腺触診法 2) 主要症状の観察 動悸・発汗・いらいら・うつ傾向 3) 心身・日常生活への影響	糖尿病認定看護師 内分泌4時間 糖代謝障害 4時間	
7	2 内分泌機能障害の看護 1) 甲状腺機能亢進・低下の看護 (1) 薬物療法・放射線ヨード療法 (2) 甲状腺クリーゼの予防 2) ホルモン補充療法・抗ホルモン療法の生活指導	テキスト 成人看護学6 (内分泌・ 代謝)	
8	3 糖代謝障害の観察とアセスメント 1) 血糖・尿糖の測定法（血糖微量採血含む） 2) 身体所見・血液・尿検査・神経学的所見の正常性 ①高血糖 ②低血糖		
9	3) 障害の原因と程度 4) 心身・日常生活への影響 5) 三大療法の指導 6) 糖尿病の合併症予防の生活指導		
10	4 退院指導（事例をもとに）		
11	女性生殖器 1 主要症状別看護について ①性器出血・ショック徴候②帯下・外陰部搔痒感・性感染症 ③排尿障害④自律神経症状・不定愁訴	岩下真紀  <テキスト> 成人看護9 女性生殖器	
12	2 診療介助における看護 ①外診時②内診時 女性生殖器の手術を受ける患者の看護		
13	① 術前②術直後③退院後の生活について 3 不妊症について 不妊症患者の看護		
14	4 乳腺疾患患者の看護 1) 乳房疾患 ①乳がん ②乳腺良性腫瘍疾患 ③乳腺悪性腫瘍疾患 ④発生・発育・異常 ⑤炎症	がん認定看護師 4時間 <テキスト> 成人看護学9 (女性生殖器)	
15	2) 乳房手術を受ける患者の看護 (リンパ浮腫含む)		
	試験		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	系統看護学講座 成人看護学6、9、10 医学書院		
受講時の注意事項 1. 事前にテキストを読んで受講してください。 2. 関連する、解剖生理・病態他を復習し受講する。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
老年臨床看護 2	2年次 前期	1単位／30時間	白田明美
【科目目標】 高齢者の経過別看護・治療処置別看護を学ぶ			
回数	主要内容	備考	
1	1. 高齢者のアセスメント	講義 白田明美 ↓	
2	1) 高齢者の特徴とアセスメントの基本		
3	2) 高齢者のフィジカルアセスメント		
4	2. 経過別にみた老年看護		
5	1) 高齢者のヘルスプロモーション		
6	2) 急性期における看護		
7	①入院		
8	②外来		
9	③薬物		
10	④手術		
11	3) リハビリテーション看護		
12	4) 慢性期の看護		
13	5) 終末期の看護		
14	6) 高齢者の医療安全	クラス別	
15	7) 高齢者の災害看護		
	8) 施設看護の特徴		
	施設見学（介護老人福祉施設・養護老人ホーム）		
	試験		
評価方法	筆記試験・提出物（100点） 授業態度		
テキスト	メジカルフレンド社 老年看護学概論・保健、健康障害を持つ高齢者の看護		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			
＜参考文献＞ 高齢者end of lifeケアガイド・高齢者生活機能評価ガイド・ハイリスク患者の周術期老年看護学技術・高齢者看護トータルナビ・老年看護学			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
老年臨床看護 3	2年次 後期	1単位／15時間	認定看護師 遠藤琴美
【科目目標】			
高齢認知症患者の看護を学ぶ			
高齢者の特徴、加齢による変化をふまえた看護過程の考え方を学ぶ			
回数	主要内容		備考
1	1. 高齢者特有の疾患と看護 1) 認知症と看護 (1) 認知症高齢者の理解		講義
2	(2) 認知症高齢者の行動のアセスメント		認知症認定看護師
3	(3) 認知症高齢者の接し方		↓
4	(4) 認知症高齢者の家族とその思い		↓
5	2. 看護過程 充足状態の説明		講義
6	事例の説明		遠藤琴美
7	まとめ		
	試験		
評価方法	筆記試験（認知症50点、看護過程20点）、提出物（30点）		授業態度
テキスト	メジカルフレンド社 老年看護学概論・保健、健康障害を持つ高齢者の看護		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			
＜参考文献＞			
生活機能のアセスメントにもとづく看護過程、高齢者の理解とケア、ユマニチュード入門、老年看護学（高齢者の健康生活を支える看護）、老年看護過程・老年看護学技術			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
小児臨床看護 1	前期	1単位／15時間	小児科医師
【科目目標】			
小児看護の役割を理解する基礎的な専門知識として小児特有の臨床症状を中心に、その病態生理や代表的な小児疾患について学ぶ。			
回数	主要内容	備考	
1	1 染色体異常・先天性異常・新生児の特徴 ダウン症候群、その他のトリソミー、性染色体異常、新生児の疾患、 低出生体重児の主な疾患	重田大輔	
2	2 呼吸器・循環器系疾患の特徴 1) 上気道疾患（風邪症候群、咽頭炎、 クループ症候群等） 2) 気管支・肺・胸膜疾患（気管支炎、肺炎、胸膜炎等） 3) 循環器疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、ファロー四徴症、 動脈管開存症、乳児突然死症候群、川崎病） 3 感染症の特徴 1) ウイルス感染症（麻疹、風疹、水痘、突発性発疹等） 2) 細菌感染症（百日咳、ジフテリア、溶連菌等） 3) 真菌感染症（カンジダ症等）		
3	4 血液・造血器・悪性新生物の特徴 1) 貧血（鉄欠乏性貧血、再生不良性貧血等） 2) 出血性疾患（血友病、 ビタミンK欠乏症、DIC、ITP等） 3) その他（好中球減少・機能異常症）等 4) 化学療法、様々な腫瘍（ALL、AML、リンパ腫、脳腫瘍、神経芽腫、 骨肉腫等）		
4	5 消化器・腎・泌尿器系疾患の特徴 1) 消化器疾患（口唇口蓋裂、舌の疾患、先天性横隔膜ヘルニア、食道閉鎖症、 食道狭窄症、肥厚性幽門狭窄症、腸閉鎖症・狭窄症、鎖肛、腸重積、 腹膜炎、臍帯ヘルニア、胆道閉鎖症・拡張症、急性乳幼児下痢症、胃腸炎等） 2) 腎・泌尿器疾患（先天性腎尿路奇形、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、 腎障害等）		
5	6 代謝・内分泌・アレルギー疾患・免疫疾患・リウマチ疾患の特徴 1) 代謝疾患（新生児マス・スクリーニング、先天性代謝異常症、糖尿病、 低血糖症等） 2) 内分泌疾患（成長ホルモン分泌不全性低身長症、 甲状腺機能低下症・亢進症、副腎疾患、性腺異常等） 3) アレルギー性疾患（食物アレルギー、気管支喘息等） 4) 免疫疾患（原発性免疫不全症）		
6	5) リウマチ性疾患（若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス等） 7 神経系・感覚器・運動器系疾患の特徴 1) 神経系疾患（無脳症、二分脊椎、水頭症、癲癇、熱性けいれん、脳性麻痺、髄膜炎、 脳症等） 2) 感覚器疾患（母斑、湿疹、蕁麻疹、真菌症、結膜炎、睫毛内反、 弱視、斜視、外耳炎、中耳炎、アデノイド増殖症、扁桃炎等）		
7	3) 運動器疾患（先天性股関節脱臼、内反足、骨折等） 8 精神疾患の特徴 1) 発達障害（知的能力障害、学習障害、 自閉スペクトラム症、ADHD等） 2) 神経症圏の疾患（チック症群、排泄症群、不安症群、強迫症、食行動障害 等） 試験		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	小児臨床看護各論【小児看護学②】 (医学書院)		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
小児臨床看護 2	後期	1単位／30時間	森泉美波・池田葉子 鈴木文子
【科目目標】 小児の発達段階を理解し、健康障害が小児とその家族に及ぼす影響を学ぶ。			
回数	主要内容	備考	
1～2	1. 疾病・障害・入院が小児に与える影響 1) 発達段階別の看護 2) 疾病・障害の理解 3) 入院の与える影響 4) 各発達段階へ与える影響と各発達段階別の看護の特徴 2. 疾病・障害・入院が家族に与える影響 1) 家族の思いを考える 2) 家族への看護	DVD視聴 演習	
3	発達段階別基本的生活習慣の獲得と症状を伴う場合の看護		
4～10	小児看護技術の基本 1) フィジカルアセスメント 2) 共通の看護技術 3) 診療・検査・処置を受ける小児と家族への看護 4) 診療・検査・処置を伴う看護技術		
11～14	経過別看護における事例を用いた看護過程の展開		
15	総まとめ 試験		
評価方法	筆記試験 看護過程提出状況(20点分) 授業態度		
テキスト	小児看護学概論・小児臨床看護 小児看護学① 医学書院 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院		
受講時の注意事項 1. 事前にテキストを読んで受講してください。 2. 個人ワーク・グループワークの時は積極的に学習してください。 3. 提出物はクリアファイルまたはファイルに綴ってください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
小児臨床看護3	後期	1単位／30時間	専門看護師・認定看護師 NICU看護師・病棟看護師 池田葉子
【科目目標】			
小児の健康障害の特徴を理解し、身体的・心理的・社会的側面から小児とその家族の看護を学ぶ。			
回数	主要内容		備考
1	出生直後から集中治療が必要な小児と家族の看護 1) 低出生体重児の特徴・看護 2) 低出生体重児に多い疾患の看護 3) 低出生体重児の家族への看護		NICU看護師
2～7	外来を訪れる小児と家族の看護 1) 外来を訪れる小児と家族の特徴 2) 外来での主な診察と看護（検査・処置、予防接種、健康診断） 3) 定期受診、在宅への調整  先天的・障害のある小児と家族の看護  災害・こころのケアが必要な小児と家族の看護  慢性期にある小児と家族の看護  慢性期にある小児と家族の看護 1) 糖尿病、気管支喘息、ネフローゼ症候群、血友病、小児がん  終末期にある小児と家族の看護 1) 筋ジストロフィー症・がんの終末期		専門看護師
8～10	入院をする小児と家族の看護  活動制限が必要な小児と家族の看護  手術をうける小児と家族の看護		小児病棟看護師
11～13	隔離が必要な小児と家族の看護  急性期にある小児と家族の看護		池田葉子
14・15	小児の救急処置が必要な小児と家族  小児の虐待と看護  試験		認定看護師
評価方法	筆記試験		
テキスト	小児看護学概論・小児臨床看護 小児看護学① 医学書院 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
母性臨床看護Ⅰ	前期	1単位／30時間	原田愛・岩下真紀
【科目目標】 周産期における妊婦・産婦の正常な経過および基本的な看護を学ぶ			
回数	主要内容	備考	
1	<b>【妊娠の生理と妊婦の看護】</b> 妊娠の経過と胎児の発育 妊娠の定義/妊娠の成立	原田愛	
2	母体の生理的・心理的变化/家族の心理・社会的変化		
3	妊婦・胎児へのアセスメントの視点 妊婦の健康管理/母体・胎児の健康状態のアセスメント		
4	妊婦健診の技術 レオポルド触診法/計測/胎児心拍数陣痛図		
5	妊娠と不快症状 妊娠中のマイナートラブルのメカニズムと看護		
6	親になっていく過程のアセスメントと援助 出産・育児準備		
7	ハイリスク妊婦の看護 切迫流早産/妊娠悪阻/妊娠高血圧症候群/糖代謝異常		
8	前置胎盤・常位胎盤早期剥離		
9	妊婦健診の技術（妊婦体操）	演習	
1	<b>【分娩の生理と産婦の看護】</b> 分娩期の概要 分娩とは ・分娩の定義 ・分娩の分類 ・分娩の3要素	岩下真紀	
2	正常分娩の経過とアセスメントと援助		
3	分娩期の看護の実際		
4	産婦の心理・社会的変化 産婦・胎児・家族のアセスメント 【演習】胎児の体位・回旋・破水・胎盤・臍帯とは 骨盤・胎児モデル使用	演習	
5	分娩期の正常経過からの逸脱と看護		
6	分娩期の正常経過からの逸脱と看護		
	試験		
テキスト	母性看護学各論(医学書院)		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			



科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
母性臨床看護3	前期	1単位／15時間	産婦人科医師 小口 治
<b>【科目目標】</b> 妊娠・分娩・産褥期における正常から逸脱した状態および回復過程について学ぶ。			
回数	主要内容	備考	
1	ハイリスク妊娠とは/切迫流早産		
2	妊娠悪阻/妊娠高血圧症候群 糖代謝異常妊娠		
3	前置胎盤/常位胎盤早期剥離		
4	娩出力の異常（微弱陣痛・過強陣痛） 産道の異常（骨産道・軟産道）		
4	胎児の異常（胎児機能不全・胎位異常・回旋異常）		
5	分娩時出血/分娩時損傷（会陰裂傷・頸管裂傷）産科処置		
6	産褥異常（子宮復古不全・産褥期の発熱・血栓症・尿路感染・乳腺炎）		
7	精神障害（マタニティブルー・産後うつ病） 帝王切開		
	試験		
評価方法	筆記試験	授業態度	
テキスト	母性看護学各論（医学書院）		
<b>受講時の注意事項</b>  1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
精神臨床看護 1	前期	1単位／30時間	伊澤敏
【科目目標】			
精神障がい者の基本的知識の習得と精神障がい者の正しい理解ができる			
回数	主要内容	備考	
1	精神障害をもつ人の抱える症状と診断のための検査		
2	・精神(心)の働きと精神症状・状態像・精神科的診察・検査 ・精神科的診察		
3	主な精神疾患・障害と治療法 精神疾患/障害の診断基準・分類		
4	・神経発達症群/神経発達障害群 (自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症など)		
5	・統合失調症スペクトラム障害および他の精神病製障害群 (統合失調症、緊張病など)		
6	・双極性障害および関連障害群(双極性障害など)		
7	・抑うつ障害群(うつ病など)		
8	・不安症群/不安障害群(パニック症など)		
9	・強迫症および関連症群/強迫性障害および関連障害群 (強迫症、脱毛症など)		
10	・心的外傷およびストレス因関連障害群(ASD、PTSDなど)		
11	・解離症群/解離性障害群(解離とは、解離性同一性障害など)		
12	・身体症状症および関連症群 (身体症状症、病気不安症、転換性障害など) 身体表現性障害、心気症、 心身症など		
13	・食行動障害および摂食障害群(摂食障害) ・睡眠-覚醒障害群(不眠障害、ナルコレプシーなど) ・物質関連障害および嗜癖性障害群 (依存とは、嗜癖とは、薬物、アルコールなど)		
14	・パーソナリティ障害群・てんかん・性同一性障害		
15	・神経認知障害群(せん妄、認知症など) ・身体合併症		
	主な治療法 ・薬物療法、電気けいれん療法、リハビリテーション療法、精神療法 司法精神医学と看護		
	筆記試験(100点)		
評価方法	筆記試験		
テキスト	精神看護学①精神看護学概論 精神保健：「メヂカルフレンド社」 精神看護学②精神障害をもつ人の看護：「メヂカルフレンド社」		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
精神臨床看護2	後期	1単位／30時間	病棟看護師
【科目目標】			
精神障がい者の正しい理解と、援助の特徴と意義を理解し、具体的な方法論を考えることが出来る。			
回数	主要内容	備考	
1 2	精神障害をもつ人と「患者－看護師」関係の構築 ・精神障害をもつ人とのかかわりかた・精神障害をもつ人とのコミュニケーション ・振り返り事の意味・プロセスレコードの活用		
3 4 5	精神障害をもつ人への看護援助の展開 ・看護援助の基本構造（精神科フィジカルアセスメントなど） ・看護過程の記録（MSEなど） ・精神障害をもつ人のセルフケアの援助（セルフケアとは何か・看護理論の必要性） ・患者による自己管理（セルフマネジメント・疾病教育・服薬自己管理・当事者の当事者による自己管理）		
6	精神障害をもつ人への看護 ・精神科病棟という治療的環境と患者の生活、治療的環境の整備・事故防止、安全管理と倫理的配慮		
7 8 9 10 11 12	精神障害をもつ人への看護 事例で学ぶ精神疾患/障害をもつ患者への看護 ・統合失調症スペクトラム（急性・回復・慢性） ・双極性障害および関連障害群 ・抑うつ障害群 ・自閉症スペクトラム ・注意欠如・多動性障害 ・強迫症および関連症群/強迫性障害および関連障害群 ・身体症状群および関連症群・食行動障害および摂食障害群 ・神経認知障害群 ・妄想性障害 ・がん・肺炎・骨折		
13 14 15	精神障害をもつ人の地域における生活への支援 ・地域精神保健福祉と社会参加 ・精神障害をもつ人の地域生活支援の実際（社会制度、地域生活移行支援、訪問看護、就労支援など） ・精神障害をもつ人を介護する家族への支援（家族ケア）		
	筆記試験（100点）		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	精神看護学①精神看護学概論 精神保健：「メヂカルフレンド社」 精神看護学②精神障害をもつ人の看護：「メヂカルフレンド社」		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
在宅援助論 1	後期	1単位／30時間	内藤英子 加藤二三和
【科目目標】			
1. 在宅における生活援助の基本的な視点を学ぶ			
2. 在宅における看護過程の展開を学ぶ			
回数	主要内容		備考
1	在宅看護概論の復習 高齢者の理解と在宅看護のポイント		内藤英子
2	難病を患う療養者の理解と在宅看護のポイント		
3	精神疾患を有する人の理解と在宅看護のポイント		
4	在宅療養児と家族の理解と在宅看護のポイント		
5	認知症を有する療養者の理解と在宅看護のポイント		
6	終末期にある療養者の理解と在宅看護のポイント DVD視聴		
7	がん治療中の療養者の理解と在宅看護のポイント DVD視聴 グリーフケアについて（エンゼルメイク・遺族訪問・遺族会） 復習テスト		
8	概論編 第3章 家族の理解と家族を対象とした在宅看護過程		加藤二三和
9	我が国の家族の変遷、看護における家族の定義		
10	家族を理解するための基礎理論、家族を看護するとはどのようなことか		
11	療養者を介護する家族の理解と在宅における家族支援のポイント		
12	在宅における家族の看護過程（第3章）		
13	看護過程の実際 グループワーク		
14	看護過程の実際 まとめ		
15	介護体験談聴講		
	試験		
評価方法	筆記試験100点（1～7担当50点、8～15担当50点）		授業態度
テキスト	在宅看護論Ⅰ概論編、在宅看護論Ⅱ実践編		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
在宅援助論 2	後期	1単位／15時間	訪問看護 認定看護師
【科目目標】			
1. 先進的な地域医療を知るとともに訪問看護の実際を学ぶ			
回数	主要内容		備考
1	1. 佐久総合病院の地域ケア活動		認定看護師
2	2. 療養者の日常生活上の援助		
3	3. 医療依存度の高い療養者と家族への援助		
4	①薬物療法 ②感染予防		
5	③間欠導尿および膀胱留置カテーテル管理		
6	④在宅中心静脈栄養法		
7	⑤在宅人工呼吸療法		
	⑥在宅酸素療法		
	⑦在宅における緩和ケア・疼痛管理		
	⑧在宅看護における終末期看護の実際（エンゼルメイク演習）		
	試験		
評価方法	筆記試験100点 授業態度		
テキスト	在宅看護論Ⅱ		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
在宅援助論3	後期	1単位／15時間	加藤二三和 内藤英子
【科目目標】			
1. 在宅での日常生活援助を学ぶ			
2. 在宅における訪問技術を学ぶ			
回数	主要内容		備考
1	実践編 第1部 療養者の日常生活上の援助 講義 第1章 豊かな食生活を支える 第2章 排泄（排尿・排便）整える 第3章 清潔を保持する		加藤二三和 内藤英子
2	第4章 身体運動機能の低下を予防する 第5章 コミュニケーションを援助する		
3	レクリエーション計画 グループワーク		
4	レクリエーション発表・まとめ		
5	訪問マナー・模擬訪問のオリエンテーション		
6	模擬訪問 演習		
7	模擬訪問まとめ グループワーク		
	試験		
評価方法	筆記試験100点 授業態度 演習成果		
テキスト	在宅看護論Ⅰ概論編、在宅看護論Ⅱ実践編		
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数/講義時間	担当教員
医療安全	前期	1単位/30時間	認定看護師・臨床工学技士 臼田明美
<b>【科目目標】</b>			
医療安全の考え方を学び、医療事故防止の基礎的能力を学ぶ。			
回数	主要内容	備考	
1	1. 医療安全と看護の理念 1) 医療安全の意味と重要性 2) 看護職の法的規定と医療安全	臼田明美 講義	
2	2. 医療事故の定義・分類 ・看護事故の構造 インシデント・アクシデント	"	
3	3. 医療事故発生のメカニズムとリスクマネジメント 1) 人間特性 2) ヒューマンエラー	"	
4	4. 看護における医療事故と安全対策 1) 療養環境に伴うリスクと安全 2) 転倒・転落の防止	"	
5	5. 看護における医療事故と安全対策 3) 患者誤認の防止 4) 誤薬の防止 5) 誤嚥・窒息の防止	"	
6	6. 看護における医療事故と安全対策 6) 情報伝達と共有・管理	"	
7		演習 (クラス毎)	
8	7.8 事故事例に基づいた事故分析(シミュレーション・リフレクション体験)	"	
9	9. 医療安全とコミュニケーション	講義	
10・11・12	6. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策－感染防止対策 1) 感染に対する標準予防策と感染経路別予防策 7. 医療機関における安全対策 1) リスクマネジメントの考え方 2) システム全体としての安全管理 3) 組織的取り組み	感染管理 認定看護師 講義・演習	
13・14・15	8. 医療機器の安全管理 1) 医療機器の安全 2) 診断・観察に用いる医療機器の安全な取り扱い (心電図モニター・パルスオキシメーター・心電計・血圧計など) 3) 治療に用いる医療機器の安全な取り扱い (AED・人工呼吸器・酸素流量計・除細動器・など)	臨床工学 技士 講義	
	筆記試験		
評価方法	筆記試験: 専任教員(60点) 医療安全管理室(20点) 臨床工学士(20点) 授業態度		
テキスト	医療安全 (メディカ出版) 臨床看護総論(メジカルフレンド)		
講義時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
看護研究1	後期	1単位／15時間	鈴木文子
【科目目標】			
看護研究（ケーススタディ）の基礎と研究のプロセスについて学ぶ。			
回数	主要内容		備考
1	看護研究（ケーススタディ）とは		事例を基に進める
2	看護研究（ケーススタディ）のプロセス1 進め方と看護研究計画書の書き方		
3	看護研究（ケーススタディ）のプロセス2 倫理的配慮		
4	看護研究（ケーススタディ）のプロセス3 テーマの題材と決め方		
5	看護研究（ケーススタディ）のプロセス4 はじめから結論まで		
6	看護研究（ケーススタディ）のプロセス5 文献検索		
7	看護研究（ケーススタディ）のプロセス6 発表とクリティーク		
	試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社		
受講時の注意事項			
1. テキストを読み進めてください。 2. 積極的にグループワークや演習に参加しましょう。			